

# 介護

VOL.27

2013.1.31

- ① **年頭のごあいさつ** (理事長・常務理事)
- ② **地域情報 (information)**
  - ・水沢在宅介護支援センター開設
  - ・二次避難所と福祉施設の役割
- ③ **地域と共に** (交流を深め)
- ④ **青山里会の催し**
  - ・小山田温泉秋祭り ... (11/9) ~ (11/11)
  - ・小山田温泉夏祭り ... (8/2)
  - ・敬老行事 (ガーデンパーティ) ... (9/6) ~ (9/8)
- ⑤ **コミュニケーション広場**  
(リハビリテーション部門が新しく立ち上がりました)

発行 社会福祉法人 **青山里会**  
せいざんりかい  
四日市市山田町5500-1  
☎059-328-2177  
<http://www.normari.jp>



**12/28**  
おもちつきの様子



青山里会は、年齢や障がいの有る、無しに関わりなく、すべての人が平等に、豊かに、安心して暮らすのがあたりまえで、普通のことであるという思想、ノーマリゼーションを理念として、福祉事業の充実に努めています。

祝

# 年頭のごあいさつ



理事長 川村陽一

昨年は、住み慣れた街で安心して暮らしていける環境づくりをテーマに、高花平と三重団地の2カ所に、地域のみなさまにご利用頂ける交流の場として「えがお」と「ぬくみ」をオープンさせて頂きました。

昨今の社会情勢は医療・介護保険サービスだけでは、生活を支え切れないでいる方が地域の中にはたくさんお見えになります。私達、青山里会は昨年同様に地域福祉活動に目を向けていき、高齢者の医療や福

祉サービスに留まらず、貧困・孤立化の対策や障害者サービスにも力を注いでいけるように新たなサービスメニューの開発を目指して参ります。高齢者や障害を抱えておられる方にとって、四日市市が日本で一番、安心して暮らせるやさしい街と言われるよう、福祉事業を展開して参りたい気持ちで一杯です。

地域の皆様、各関係機関の皆様、誰もが安心して暮らし続けられる社会を目指し、最善をつくして参りますのでご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



〈写真〉新年の理事長会議と幹部スタッフ



常務理事兼ソーシャルワーカー部長

## 西元幸雄

昨年は高花平団地と三重団地の2カ所にて「いきいき安心生活館」をオープンさせて頂きました。ここでは地域の皆様がお気軽に足を運んで頂ける街の集える場所として、「交流の場」「コミュニティレストラン」「総合相談」の三本柱が充実していけるように取り組んできております。

社会福祉に求められる役割は多様化してきており、医療・介護問題だけでなく、貧困、虐待、食の問題や孤立、無支援状態と求められるサービスが増えてきています。私達の事業は第一種の社会福祉事業として、生活にお困りでいらっしゃる方の暮らしを全面的に支えさせて頂くことこそが、社会的な使命であります。しかし、対象者も年々増加傾向にあり、私達だけでは十分に補えないのが現状であります。地域住民の皆様にお願いがございます。皆様方が既におつくり頂いている「地域の支え合い」の取り組みの中に、私達(青山里会)もお仲間に入れて頂けないでしょうか。私たちも、もっともっとかお役にたてることがあると思います。どうかよろしくお願い致します。

# 地域情報 (information)

## 水沢在宅介護支援センター(仮称)

これまで、水沢地区の相談窓口は小山田在宅介護サービスセンターが担って参りましたが、より身近な場所で介護サービス等の相談支援を受けられるようにと、四日市市の計画により水沢在宅介護支援センターを設置することになりました。(H25年4月開設予定)

### 【在宅介護支援センターって?】

保健・福祉サービスを総合的かつ一体的に提供できる機能を備えた複合施設として、市内24区の保健・福祉エリアに整備された在宅福祉サービスの拠点です。

(=四日市市から委託を受けている公的な相談窓口)

#### 主な業務内容

- ・地域に暮らす全ての高齢者や家族の最も身近な総合相談窓口(相談は無料・24時間365日対応)
- ・介護、高齢者関係のサービス利用のための申請代行、連絡、調整などあらゆる相談に対応



## 二次避難所とは…

当法人は、四日市市と二次避難所の契約を結んでいます。

皆さんは「二次避難所ってなに?」と聞かれたときに答えることができますか?

### <四日市市には一次避難所と二次避難所の2種類あります>

- ①一次避難所 = 一般の人が避難する場所(学校、市民センターなど)
- ②二次避難所 = 一次避難所での避難生活が困難な人が避難する場所

➡ 要介護者、障がい者、妊婦さんなど一般の避難所の環境では生活を送ることが困難な人が対象となっています。



二次避難所として契約している施設では入所定員の2割の人の受け入れをすることになります。(Ex:定員100名の施設では20名の避難者を受け入れます。)そのため、私たちは『入所者+避難者20名』に対して支援を行っていきけるよう取り組んでいきます。

皆さんも災害がおきた時のために…  
避難場所や避難グッズの確認を!!!

# 地域交流

## ぬくみ学校開校

地域にお住いの皆様が誰でも気軽に、ご利用頂ける交流の場として、三重団地に、いきいき安心生活館「ぬくみ」をオープンして早半年が経とうとしております。これまで軽食や介護相談等、多くの方にご利用頂いてまいりましたが、みんなで様々な勉強会や意見交換ができる場所にしたいというご要望もあり、三重西地区にお住まいの方々と共に「ぬくみ学校運営委員会」を立ち上げました。第1回のテーマは地域の診療所である、竹尾内科クリニック 院長 竹尾雅樹先生をお招きして『コレステロールから健康寿命を考えよう!』のテーマでお話し頂きました。当日は、62名と多数の方が参加され、非常に盛況な開校となりました。

今後は、2ヶ月に1回のペースで開校して行く予定です。次回、第4回の「ぬくみ学校」の開催は2月に予定をしております。どなたでもご参加可能となっておりますので、お気軽に覗いて見てください。



ぬくみ学校 担当 西脇

## バスハイキングに行ってきました

四郷地区福祉教室は、2ヶ月に1回主に四郷地区市民センターで開催しています。毎回テーマは、地域住民の方々と構成されている福祉教室運営委員が中心となり、参加者のアンケートを基にしたり、その時の身近な話題を取り上げたりして興味深いように検討を重ねています。「教室を飛び出して野外活動したい!!」という希望が多く、H15年に郷土散策から始まり、もっと遠くに行ってみようという希望から今年で9年目。今年も、妻籠宿へ行ってきました。参加者129名とたくさんの方に参加して頂きました。妻籠宿は、中山道六十九次のうち江戸から数えて四十二番目。

中山道と伊那街道の要街として古くから賑わいをみせました。歴史の面影を残す宿場町、紅葉には少し早かったものの、思い思いに散策を楽しまれていました。



四郷地区福祉教室 事務局 石原



# の様子

## 小山田地区運動会に参加してきました

10月21日の日曜日、小山田地区大運動会が地区社協主催で盛大に開催されました。私ども青山里会も、地域の一員として毎年、準備段階から参加させて頂いております。

当日は晴天に恵まれ、参加した職員や施設入居者は、住民の皆さんと一緒に気持ちよい汗を流しました。

パン食い競争や紅白玉入れなど、子供からお年寄りまで参加できる競技が多く、みんなが笑顔で世代間の交流を楽しみました。青山



里会チームが挑んだ、町別対抗綱引きでは、今年は残念ながら1回戦敗退の結果に終わりました。来年こそは、力を合わせて上位を狙いたいものです。

青山里会は、これからも地域行事などへの積極的な参加や協働に心がけ、地域住民の方々との絆を大切にしながら、だれもが住みよい地域づくりに貢献していきたいと考えます。

保健体育部 担当 石田

## 桜花台秋祭りで多くの方と交流

今年も恒例の桜花台の秋祭りに参加させて頂きました。子供から大人まで多くの笑顔で会場は埋め尽くされていました。私たち青山里会も歌や演劇のパフォーマンスを披露させて頂き、桜花台の皆様と共に楽しい一時を過ごすことができました。



# 第27回 小山田温泉祭り開催しました

11/10

## 前夜祭



## 小山田温泉郷



11月10・11日 6000人もの来場を頂きました。  
 今年は、サブテーマを「みんなが作る、楽しみがい・遊びがい・生きがいが見つかる居場所」とし、このまつりをみんなが集い、つながる場所として、そして、いろいろな人がそれぞれの楽しみや安心できる毎日へのヒントを見つけられる場に作り上げてきました。多くのみなさまにご来場頂きありがとうございました!!

## ぴあ小山田ホール



## 福四祭



# 小山田温泉夏祭り

本年も開催しました。盆踊り当日は、屋台やゲーム等の夜店が十数軒並ぶ本格的な雰囲気の中、江州音頭をはじめとする昔ながらの曲から、今流行の曲まで様々な曲をそろえ、子どもからお年寄りの方、障害をお持ちの方など、誰もが楽しんでいただけるお祭りでした。



小山田地区連合自治会  
 会長 矢田義秀 様よりご挨拶いただきました。



## いきいき安心生活館



## おまつりひろば



## キッズコーナー



## 才山工芸村



## 福井幹やすらぎのコンサート



## BAND JAM SESSION



## 敬老行事

3日間に渡り開催しましたガーデンパーティー。日頃一緒に食事する機会が少ないご家族様と一緒に卓を囲み召し上がって頂きました。また、ご利用者、家族や職員の余興。どの施設も盛り上がり笑顔がいっぱいでした。いつまでもお元気で。



## リハビリテーション部門が新しく立ち上がりました。

現在、青山里会リハビリスタッフは、理学療法士が3名、作業療法士が7名、言語聴覚士2名と少人数ながらも利用者のニーズに応えていけるよう、新たな体制を築くことになりました。



「作業とは生活する全ての行為のことを示しています」

そして人は作業の連続によって生活が成り立ち、疾患や障害によって、その何処か一部でも欠如すれば不安や不自由を感じます。

作業療法とは、ご本人が興味を持てることに対し、療法士が専門的な視点で関わることで、無理なくご本人の想いに添った日常生活の継続ができるようサポートすることです。

「人の生活を点ではなく、線で支援していくことで安心な生活を送って頂けるようにする職種です。」ご本人が生き生きと自分らしい暮らしを取り戻していただくためにも、私たちリハビリ部門は、医師、看護師、社会福祉士、栄養士、歯科衛生士といった他職種の専門家と連携

したチームケアで関わっていくことで、「その人らしい生活」をよりいっそう支援していければと思います。

### 求人情報

|       | 募集人数 | 勤務形態  | 勤務時間        | 給与         |
|-------|------|-------|-------------|------------|
| 理学療法士 | 若干名  | 4週7休制 | 8:30～17:00※ | 260,000円/月 |
| 作業療法士 | 若干名  | 4週7休制 | 8:30～17:00※ | 260,000円/月 |
| 言語聴覚士 | 若干名  | 4週7休制 | 8:30～17:00※ | 260,000円/月 |

※…将来的に事情に応じて変更も有り

(前歴換算有り)

### 編集後記

気がつけば、あれほど楽しみにしていたお正月も過ぎてしまい(!!)早いもので1月のカレンダーも残す所あと数日となりました。今年1年の目標、もうお決まりでしょうか？

私は昨年やり残した仕事、今やらなきゃならない事に自分なりの勝手な仕分けを行ってしまい、分かっているながらも大変な事を後回し(笑)今年は昨年の反省を糧に、自分自身のステップアップを目指し、新しきことにチャレンジしていけたらと思います。



広報担当 石原佳奈